

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月10日

【評価実施概要】

事業所番号	4270105473		
法人名	医療法人 昭和会		
事業所名	グループホーム 新地		
所在地	〒850-0842 長崎県長崎市新地町6番3号 (電話) 095-823-3564		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1F		
訪問調査日	平成19年11月29日	評価確定日	平成19年12月28日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11人	常勤	9人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリートと 造り		
	4階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	350 円	昼食 430 円
	夕食	600 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	72歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	昭和会病院・恵美須町病院・光安歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

立ち上げからわずか2年間で、試行錯誤の中、グループホームのあり方を探ってここまで来られた努力には敬服するものがある。今後は、入居者が何を望んでいるか、どのようにしたら喜んでもらえるかの引き出しの努力に視点を置いて、取り組んでいくことが望まれる。又、運営母体が病院であることから、支援の体勢が整えられている事は心強く、職員のチームワークも良く、笑顔とやりがいをもって業務に励んでおられる事が入居者の穏やかな表情からも窺い知れた。

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>入居者の権利と義務は、契約書、重要事項説明書に明記され、利用者家族への説明もあるほどのよい関係作りができつつある。又、自治会の班長を引き受けるなど、地域のなかに根ざし、ホームと地域の双方向関係作りの基盤ができつつあり、期待が持てる。今後は、道路から玄関までのアプローチ等、構造上困難な面もあるが、地域の方々にもどうしたら気軽に立ち寄ってもらえるようになるかなど、運営推進会議の意見も聞き、明るく、気軽に訪れやすい玄関回りの配慮に期待する。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回は、前回評価の改善事項がよく話し合われており、自己評価については、職員に回覧しながら管理者が集約している。自己評価の意義は、全職員で取り組む事によって、一つの項目のねらいが各人に自覚される事、職員の意識の共有が望める事にあるので、今後は、全員が一人ずつそれぞれに取り組む事が望ましい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議では、ホームの近況報告、活動予定を柱とし、自治会への参加、外部評価、研修結果報告など、折々に議題が設定されている。自治会からの要望、又、ホーム側からの依頼などがスムーズに交換されている。市職員からの助言があったり、住民代表からは他ホームの活動内容の紹介がある等、活発に意見交換がされている。又、家族からは、「入り口手前の駐車場の、車の止め方で通りづらい」との要望が出されているが、デイサービスとも協働し、気軽に、訪れやすい玄関周りに改善されることが望まれる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ご家族の面会が多く、その都度状況報告、変化時の連絡などは密にされている。しかし家族の本当に知りたい事、お世話になっているとの感謝と遠慮の思いで言い出せない事も考慮し、ご家族の知りたい情報を的確に伝えているかの点検も含め、言ってもらいやすい雰囲気と状況作りには、なお努力が望まれる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会の班長を事業所として受け入れ、積極的に関わっていきこうとする意欲と姿勢は、地域住民の一員として地域で必要とされる活動や役割を担っていくものとして大いに期待される。運営推進会議への委嘱状を交付したり、ホームのパンフレット配布をお願いしたりと協力関係が構築されている。市民大清掃では、湊公園へ入居者と共に参加している。地域より民謡、舞踊のボランティア訪問などもある。</p>

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し、「地域の中で、その人らしく、楽しく笑顔で、安心した暮らしの提供」という事が理念に掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、毎朝の申し送りの時や、ミーティングのときの振り返りとして、職員の間で共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会加入、班長引き受け、市民大清掃への、入居者との参加、ホーム行事へのボランティア訪問など双方向関係が構築されつつある。しかし、地域の一員としての取り組みはまだ端緒についたばかりで、地域に根ざした活動までには及んでいない。		地域の行事への参加などはもとより、地域の小学校、中学校の総合学習、職場体験等、受けることにより、入居者の意欲更新につながる支援にも期待し、さらには、運動会等の学校行事への参加・受け入れなどの広がり支援が期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者より、評価は、日常のケアの振り返りであり、入居者へのケアのありかた、サービスの質の向上の機会と捉える事が伝えられている。改善計画シートが作成され、意欲的に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には、利用者家族、地域住民代表、行政職員(市・地域包括支援センター)等の参加がある。市からの助言、地域住民からの意見、ご家族からの要望等多彩にわたり、活発に意見交換がされている。外部評価についての議案もあり、家族会結成のきっかけともなっている。		運営推進会議では、自己評価の内容の説明、外部評価の結果の公表と、評価と運営推進会議を一体的に活かしていく相乗効果に期待する。デイサービスと共用の駐車場も含め、通りから玄関までのアプローチが、明るく気軽に訪れやすくなるような知恵の参集の反映に期待する。

グループホーム 新地

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所はグループホーム連絡協議会の拠点として、行政への働きかける立場があり、やり取りの機会がある。しかし、事業所として積極的にホームの実情、必要な支援の要請など、働きかけるまでには及んでいない。		評価結果を提出に行く時など、機会を捉え、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れ伝えたり、市職員の研修の場として、事業所を活用してもらうなど、積極的な協働関係の継続が望ましい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の面会が多く、そのたびに状況報告や状態変化時の連絡が密である。月1回広報が発行され、職員の移動が伝えられている。		広報についてはねらいを絞り、毎月の各家族宛のものには、それぞれの個別の情報、支援の状況等を写真と共に「連絡ノート」的に作成することが望まれる。又、それとは別に、地域・ご家族・その他への総合情報発信として、季刊紙という形でも、個人情報に配慮した事業所活動等を伝えて協力支援を仰ぐなど、発信先に応じた内容を再検討し、ご家族の本当に知りたい情報を集め、伝える努力に期待する。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の請求時にご意見を聞きだすアンケート文書を同封し、回答として感謝のお手紙がご意見箱に入っているなど、取り組みが功を奏している。家族会が結成されたところである。広報のねらいが漠然としており、どのように配布されるか、どのような利用の仕方をされるのかのねらいがやや、弱いように思われる。		家族会では、ご家族だけで話し合う時間を設けるなどの、意見が出やすい工夫を、広報や、請求時文書等に、「ご意見、ご要望等、いつでもお気軽にどうぞ」といった文言を付け加えるなど、気軽に言いやすい雰囲気作りの努力に期待する。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	広報には簡単な職員の移動の報告がある。入居者には、様子を見ながら伝えられ、引継ぎ期間には十分に配慮し、スムーズな移行に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の質の向上の意味を捉え、研修の推奨がよくある。希望の研修は受講しやすい体制である。必要な研修は復命で行われ、受講後は報告し、皆に周知されている。さらに年間を通して計画的・継続的・効果的に行われる事により、更なる充実に期待する。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長崎市のグループホーム連絡協議会の拠点として、在宅部長が積極的に関わっておられる。管理者・職員も研修・会議への参加がよくあり、意見交換等、他事業所との交流が図られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族の希望で、面接・相談が行われ、ご本人と共にホームの見学に来ていただき、気に入っていただいていた入居支援となる。入居後もしくは、ご家族に夜8時までは一緒にいていただくなど、家族の協力を得ながら、馴染むまで職員は、よく話を聞き、よく寄り添う支援がなされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>節約の知恵、規律正しさの教え、厳しい姿勢のありかた等、長年の蓄積された経験を通して教えられる事が多い。職員のプライベートに抱え込んだ気分なども、ホームでの入居者の姿に励まされ、前向きな活力の源となることも多い。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入浴時のような心がリラックスした時に、ふと呟いてくれるような心の思いを聞き取る力、記録して、積みかさね活かす工夫までには及んでいない。</p>		<p>ふと呟いてくれたような心の思いは、咄嗟にメモを取るなどして書き溜めておき、改めてアセスメントに記載するなど、介護中心のアセスメントではなく、ご本人の思いや希望、過去の生活歴、またどうありたいか等が、記載しやすい書式の工夫と、職員の聞き取る力の養成が望まれる。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護の為のアセスメントによる介護計画ではなく、日頃の関わりの中で思いや意見を聞きだし、ご本人がどうしたいのか、どうありたいかが反映された介護計画に及んでいない。</p>		<p>入居者の思い、願い、どう暮らしたいかの聞き取りが少なく、上記により工夫されたアセスメントによる、入居者主体の暮らしを反映した介護計画が望まれる。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランの目標が、日々のケアに反映した記録にはまだ及んでおらず、又、モニタリングが効果的に行われているとは言い難い。</p>		<p>ケアプランを反映した個人記録に変えていくことで評価がしやすく、効果的なモニタリングができると期待する。又、その評価を以って見直しに反映される事が望ましい。記録に時間をかけることなくポイントを抑えた効果的な記録のあり方の工夫に期待する。</p>

グループホーム 新地

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	月に1回は入居者一人一人について、評価を行ない、次回の機能訓練についてプランを立て、理学療法士と連携を取り、アドバイスや指導を受けている。又、デイサービスでの催しなどに参加し、連携を図っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院を家族了解のもと、主治医としながらも、これまでの馴染みの医療機関への受診は、ご家族対応で継続している。事情によってはナース同行での受診の支援があり、いずれの場合も受信後の情報はご家族へも伝達されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの方針は文書化し同意を得る形で契約時に説明されている。しかし、重度化や終末に向けたご家族・ご本人の意識の共有化には及んでいない。		看取り、重度化が現実になりつつある早い段階から、ゆっくりとした、納得のいく終末、看取りを迎えるために、ご本人・ご家族が、どのように看取られたいか等の希望を聞き、同意を得ておくなど、意識の共有をされる事が望ましい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	表札をそれぞれ花の額にして、個人名を出さない事や、トイレに「入っています、いない」の手作りの表示板があること、広報の写真掲載分の配布には網掛けを施すなど、プライバシーへの配慮がある。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本となる一日の流れというものはあるが、静かに居室で過ごす、廊下のソファで談話する、畳で横になるなど、その日、その時のご本人のペースが尊重される。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	バランスの良いメニューやおいしそうな盛り付けに配慮されており、職員も共に食事をしている。後片付けや洗った後の食器拭きのお手伝いをされていた。又、今後は外食やバイキングも検討中である。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2・3回、希望に応じており、清拭にも対応している。又、入浴を拒む傾向にある方には、職員が言葉かけや対応を工夫し入浴していただいている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	おはぎ作りは、希望を聞けば「しない」といわれるが、蒸したものを、目の前に置くとさっと手を出される等、昔の思い出させる光景がある。毎月のカレンダーは、その月にあった季節の行事にちなんで、入居者と共に製作している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候やご本人の状態に合わせ、散歩や買い物の支援がある。時には遠足など、遠出の外出の支援もある。又、業務日誌、生活記録に記録し把握している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中のかぎ掛けはされていない。ホーム内にはエレベーターがあり、2F、3Fへの往来ができるようにしている。内鍵をかける方が居られるが、自宅に居たときの戸締りの感覚で支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡体制は近隣住民の協力も得られ、組織の中に組み込まれており、消防訓練時には、近隣の民生委員、自治会、住民の協力があり、災害用備蓄の準備もある。又、消防署立会いの避難訓練は来年行う予定である。		

グループホーム 新地

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の記録があり、残食チェックがなされている。月1度の体重測定は、主治医の指導が得られている。水分の総量も、3食、おやつ時のお茶、味噌汁等1200ccを目安としている。状態に応じ、刻み食が、嗜好により代用食が用意されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	時計は見やすく大きい。又、ソファの配置と共に、椅子が随所に置かれ、独り居の居場所が確保されている。観葉植物や鉢植え、花瓶の花が目を楽しませ、いわさきちひろさんの絵が随所に、目線に掲げてあり、優しい雰囲気がある。又、季節的にクリスマスの飾り付けがあり楽しい雰囲気がある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	洋服かけや引き出し、椅子や絵画、写真などの馴染みの物の持ち込みが促されている。又、家族や本人により家具の配置や飾り付けを行っている。		